

開講日	2026年春期 水曜日 18:30-20:00	講義場所	Zoom配信 + 対面講義(医学部研究棟11階 講義室A)
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学分野 教授 安川 力		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】視覚は五感の中でも日常生活を送る上で必要な情報の大半を担っている。人生100年時代と言われる超高齢化社会において、QOLを維持して健やかに生活を送るために眼は大切である。現代においてスマホの普及などの近見作業時間延長を背景に子供の近視の増加が社会問題となっている。また、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性など高齢者の身体障害の原因となる疾患は、治療法が進歩する一方、発症前の体調の変化である「フレイル」に注目して、予防を意識することも大切である。本講義では、目の仕組みについて、また主な病気の病態、治療、予防について学ぶ。</p> <p>【期待される成果】 眼の構造、機能を理解することで眼科疾患の病態を理解し、予防法と治療法について学習する。</p>
目標とする 資格	視能訓練士・眼科専門医

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1	1	視覚路としての眼の構造	眼は光を感じるために進化した感覚器であり、カメラと同じような構造をしています。眼球各部位の構造と役割を整理することで、白内障や緑内障、網膜疾患、視神経疾患などの代表的な眼疾患の病態理解、臨床での観察やケアに活かすことができます。	4月8日	杉山寛明(名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学)
L-2	2	眼瞼の構造と美容	眼瞼は眼を守り視機能を支える重要な器官であると同時に、顔の印象を大きく左右します。本講義では眼瞼の基本構造と働きを解説し、加齢による変化や眼瞼下垂などの代表的疾患を紹介します。さらに眼瞼手術や美容医療について、機能と安全性についてご紹介します。	4月15日	吉田暉平(オキユロフェイスナルクリニック 東京)
L-3	3	「斜視」と「弱視」を知ろう	目の位置がずれる「斜視」は、見た目の問題だけでなく、ものが二つに見えたり、立体感がつかみにくくなったりすることがあります。また、生まれつき、あるいは成長の過程で視力が十分に育たなかった状態を「弱視」と呼びますが、どのような原因で起こり、どのような治療があるのでしょうか。本講義では、身近な話題を織り交ぜながら、「斜視」と「弱視」についてやさしく解説し、理解を深めていきます。	4月22日	岩瀬千絵(秋田大学医学部 眼科)
L-4	4	角結膜炎	本講義では、視機能の基礎を踏まえ、角膜炎・結膜炎の原因、症状、鑑別、予防と対応を解説します。日常で早期発見し、QOL低下を防ぐ視点を養います。高齢化や近見作業増加を背景に、炎症性眼疾患への理解を深めることを目的とします。	5月13日	湯口貴彬(名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学)
L-5	5	白内障の基礎と眼内レンズの進歩	国内で半数以上の方が生涯で手術を受けることとなる白内障は高齢者の視力低下で重要な疾患です。白内障手術の歴史は長く、最近の進歩は著しいです。本講義では、白内障の基本的な病態、手術の流れ、現在主流となっている眼内レンズの特徴を学びます。	5月20日	高柳佑士(名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学)
L-6	6	緑内障	緑内障は日本における失明原因の第1位で、40歳以上の約20人に1人が罹患する身近な疾患です。本講義では、最新の画像診断による早期発見の重要性と、低侵襲手術を含む治療の進歩を紹介し、失明を防ぐために知っておくべきポイントをわかりやすく解説します。	5月27日	野崎実穂(名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 眼科)
L-7	7	ぶどう膜炎	ぶどう膜炎は眼内に炎症が生じる疾患で、視力低下や眼痛、充血などを呈し、重症例では視機能に重大な影響を及ぼすことがあります。原因は多様で、適切な鑑別診断と治療戦略が重要です。本講義では、病態、診断、治療の基本と主要疾患について整理して解説します。	6月3日	加藤亜紀(中部国際医療センター 眼科)
L-8	8	目のサイエンス(1):モアイの白目一目と心の気になる関係	ヒトの目の外部形態—横長で広く露出した白い強膜—が、どのように内面的な状態(内なる目)と外面的な行動(外なる目)を結びつけるコミュニケーション装置として機能しているのかを、霊長類比較や発達研究の知見をもとに考察します。	6月10日	小林 洋美(九州大学人間環境学研究院 学術協力研究員)
L-9	9	眼鏡と屈折矯正手術(レーシック・ICLなど)	視覚は生活の質に大きく関わる重要な感覚であり、近年はタブレットなど近見作業の増加により近視人口の増加が社会問題となっています。屈折異常はQOLや学習・労働効率、さらには高齢期のフレイルにも影響します。本講義では、眼の仕組みと視力矯正の方法(眼鏡・コンタクト・屈折矯正手術)を理解し、視力の質を支える適切な選択ができることを目指します。	6月17日	松本篤季(能登川病院 昂会アイセンター)
L-10	10	網膜剥離	網膜剥離は、放置すると視力低下や失明につながる重要な眼疾患です。初期症状が軽く、受診が遅れることもあるため、早期発見が予後に大きく影響します。網膜の構造と剥離の仕組み、代表的な症状や治療の概要を整理し、臨床現場での観察や患者対応に必要な基礎知識の再確認を目指します。	6月24日	榮枝幸紀(名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学)
L-11	11	糖尿病網膜症	糖尿病網膜症は糖尿病による三大合併症(神経症、網膜症、腎症)の一つで、現在、中高年の失明原因の2位(1位は緑内障)となっています。本講義では、糖尿病網膜症の病態・治療、及びその予防法について概説したいと思います。	7月1日	佐藤達彦(名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学)
L-12	12	目のサイエンス(2):小児近視の将来リスクと近視進行抑制治療	日本の失明原因(WHO基準)の1位は強度近視による近視性黄斑症です。日本を含む東アジアにおける小児近視のパンデミックは、将来の視覚障害者の爆発的増加を意味します。本講演では近視関連合併症のリスク、強度近視にならないための最新の治療戦略として生活習慣から低濃度アトロピン点眼、オルソケラトロジー、近視管理眼鏡、レッドライト治療などについて提示します。	7月8日	倉知 豪(倉知眼科)
L-13	13	ロービジョンケア	ロービジョンケアとは、視覚に問題のある方に対する支援の総称です。ロービジョンの概念や疾患別特徴、支援の実践についてお話しします。	7月15日	平田怜子(名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院 眼科)
L-14	14	目のサイエンス(3):人工知能が挑む失敗するヒトの問題 世界初の眼科手術安全管理AIシステム	間違える生き物であるヒトを眼科手術安全管理AIシステムがどのようにカバーしているかを通じて、ヒトとAIの関わり合いを学ぶ。	7月22日	田淵仁志(ツカザギ病院 眼科・兵庫医科大学AI眼科診療システム開発講座)
L-15	15	加齢黄斑変性の予防と治療	我が国の視覚による身体障害の原因疾患の第4位が加齢黄斑変性で高齢になる程、発症リスクが高くなり、緑内障と並んで高齢者疾患として重要です。予防を意識して、片方の目だけでも守ることが治療と同等に重要です。本講義では病態、予防の意義、進歩ある最新の治療について紹介します。	7月29日	安川 力(名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学)